

I. 足元の輸送状況と 経営の考え方



代表取締役社長
金子 慎

東海旅客鉄道株式会社
2020年4月28日

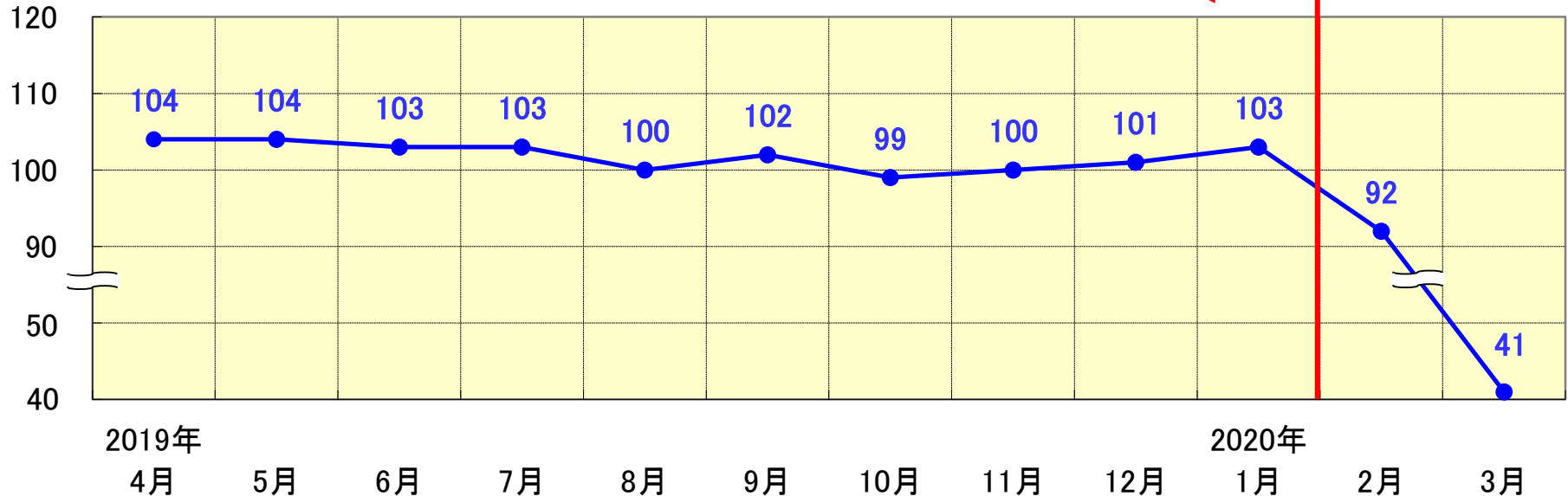
新幹線のご利用状況（東京口）

2019年度（実績） 前年比**96%**

（平日95%、土休日95%※）

※平日、土休日は一日平均の対比

（前年比：%）



- 2019年度は、1月まで堅調な水準を維持できたものの、2月以降は新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響を受け、前年比96%。
- 4月に入ってから、緊急事態宣言が出されたこともあり、企業の出張や旅行などの減少がより一層進んだことの影響を受け、さらにお客様のご利用が減少し、26日までの実績で前年比11%。

2019年度 決算への影響

- 運輸収入への影響： $\Delta 640$ 億円程度
- 連結営業収益への影響： $\Delta 750$ 億円程度

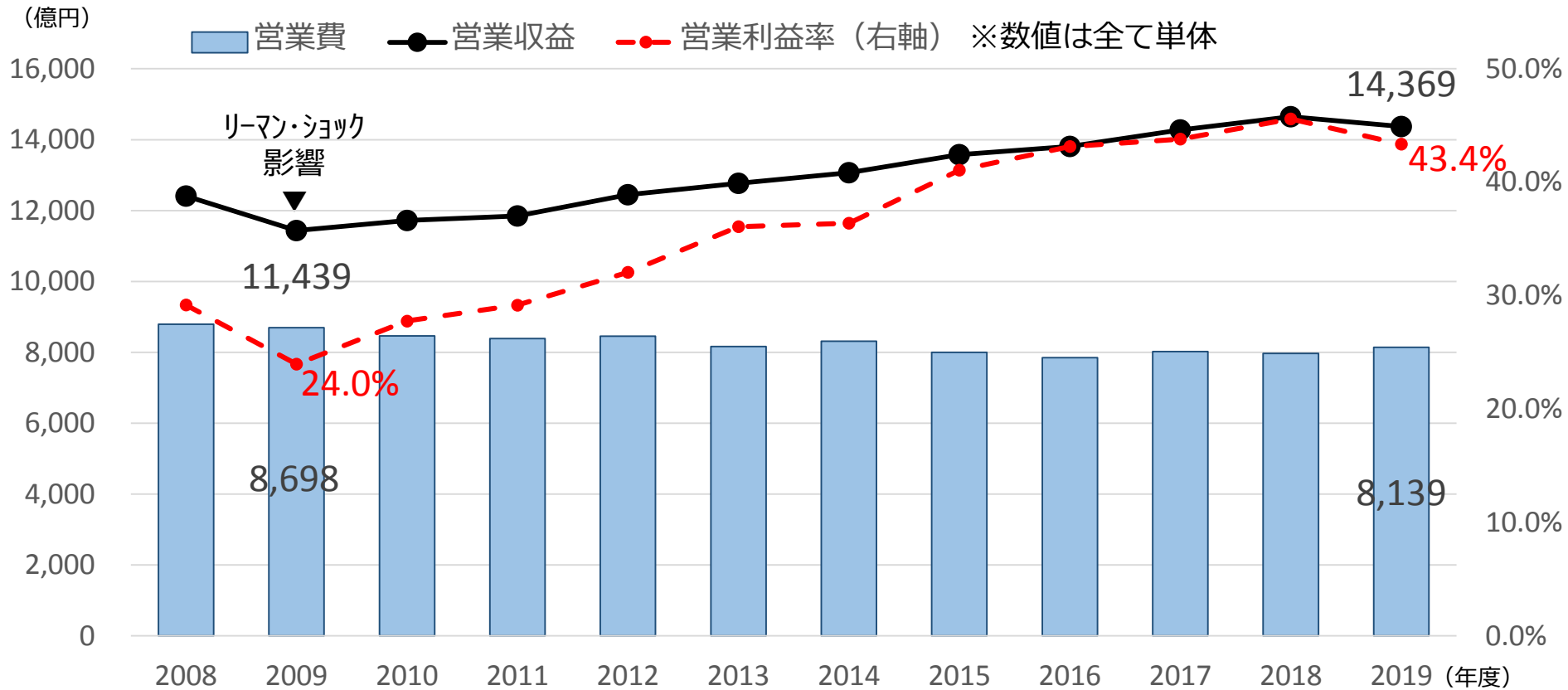
(参考) 各セグメントにおける収入への影響

セグメント	収入への影響	概要
運輸業	$\Delta 640$ 億円程度	運輸収入の減、等
流通業	$\Delta 70$ 億円程度	店舗売上の減、等
不動産業	$\Delta 10$ 億円程度	各地区における駅ビル収入の減、等
その他	$\Delta 30$ 億円程度	宿泊収入や旅行商品収入の減、等

今後の見通し

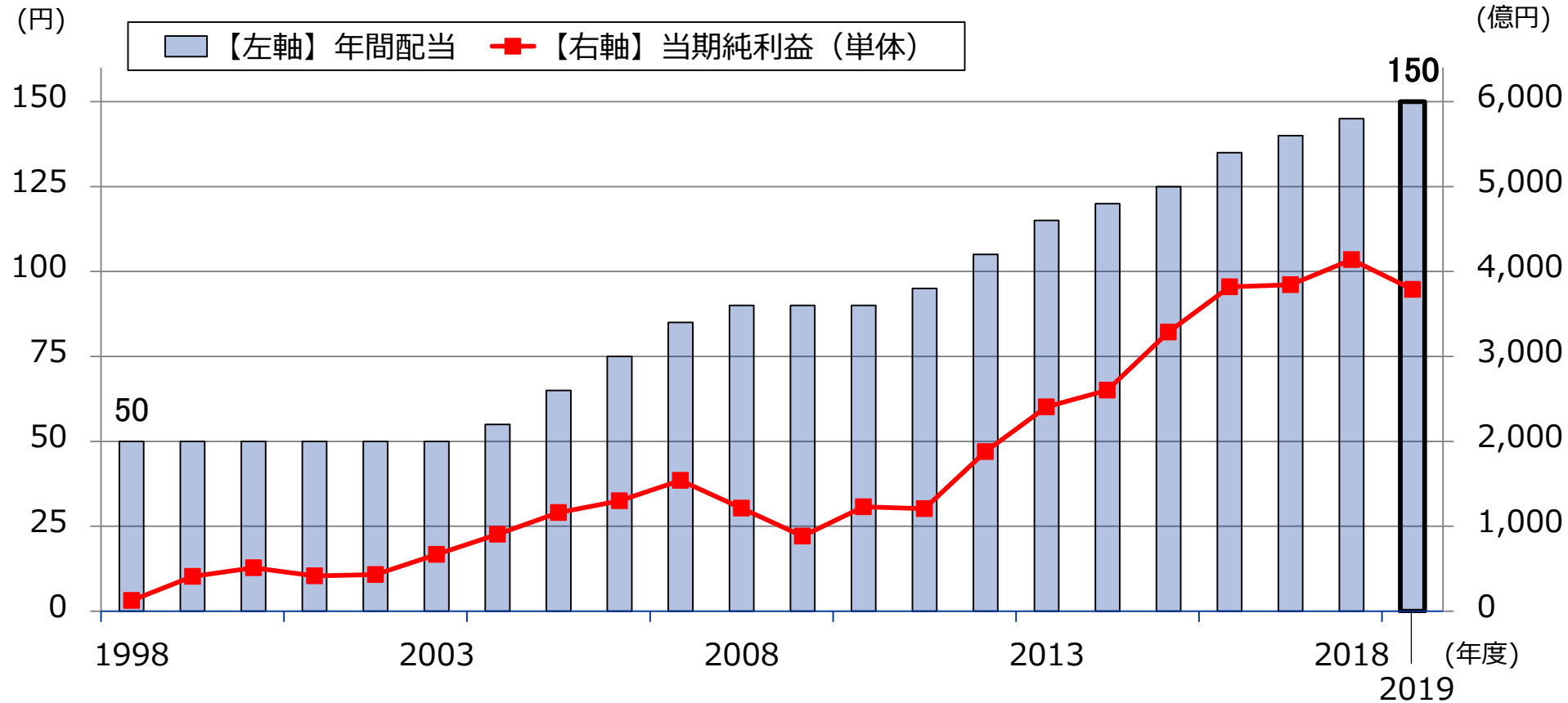
- 2020年度の業績への影響は、現時点で算定が困難。
 - ・グループ会社も含め、当面は資金繰りの懸念はない。
 - ・中央新幹線計画は、当面の工事資金は確保できており、着実に進めていく。

当面の鉄道事業運営の考え方



- 公共的な役割を担う輸送機関として、その使命を果たしていく。
- 現時点においては、設備投資については安全の確保に必要なものであり、中長期的な観点から計画通り実施。
- 感染収束後には、「のぞみ12本ダイヤ」、N700Sの投入、EXサービスの利便性向上といった取組みを活かし、収益の回復・拡大に備える。

安定配当の継続が基本方針



- 2019年度の期末配当については、安定配当を継続するという基本方針に基づき、本年1月に公表した配当予想どおり1株当たり75円とする予定。
- 2020年度の配当については、安定配当を継続するという基本方針に変更はないが、現時点で業績予想の算定が困難であるため、配当予想は未定とし、可能となった時点で速やかに公表する。

Ⅱ. 2020年3月期 決算概要



執行役員 財務部長
山田 龍彦

東海旅客鉄道株式会社
2020年4月28日

損益計算書（連結）

	2019年3月期 実績 A	2020年3月期 実績 B	増減 (B-A)	(億円)
営業収益	18,781	18,446	△334	
営業費	11,683	11,884	+201	
営業利益	7,097	6,561	△536	
営業外損益	△771	△818	△47	
経常利益	6,326	5,742	△583	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,387	3,978	△408	

■ 長期債務実績（連結・単体）

期末残高	増減	中央除く	
		期末残高	増減
48,460	△50	18,460	△50

■ 設備投資実績（2020年3月期）

連結	単体	2020年3月期	
		安全関連投資	中央新幹線
5,240	4,996	1,862	2,552

セグメント情報 (連結)

(億円)

		2019年3月期 実績 A	2020年3月期 実績 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益		18,781	18,446	△334	
	運輸業	14,613	14,312	△300	(-) JR東海(運輸業)
	流通業	2,649	2,632	△17	(-) 東海キヨスク
	不動産業	821	799	△21	(-) JR東海不動産
	その他	2,610	2,722	+111	(+) 日本車両 (-) JR東海ホテルズ、JR東海ツアーズ
営業費		11,683	11,884	+201	
営業利益		7,097	6,561	△536	
	運輸業	6,648	6,176	△472	(-) JR東海(運輸業)
	流通業	96	74	△22	(-) 東海キヨスク
	不動産業	202	190	△12	(-) JR東海不動産
	その他	161	135	△25	(+) 日本車両 (-) JR東海ホテルズ、JR東海ツアーズ

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（億円）

	2019年3月期 実績 A	2020年3月期 実績 B	増減 (B-A)
営業活動によるCF	6,003	5,952	△50
投資活動によるCF	△5,975	△5,524	+450
有形・無形固定資産の取得等による支出	△3,978	△4,590	△612
中央新幹線建設資金管理信託による収入・支出	1,703	2,355	+652
資金運用による収入・支出	△3,700	△3,289	+410
財務活動によるCF	△336	△329	+6
現金及び現金同等物の増減額	△308	97	+405
現金及び現金同等物の期首残高	7,824	7,516	△308
現金及び現金同等物の期末残高	7,516	7,613	+97

損益計算書（単体）

10

（億円）

	2019年3月期 実績 A	2020年3月期 実績 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益 (運輸収入)	14,648 (13,966)	14,369 (13,656)	△278 (△310)	新幹線△304、在来線△5
営業費	7,971	8,139	+168	
人件費	1,797	1,751	△46	退職給付費用の減
物件費	3,817	4,013	+196	
動力費	431	433	+2	
修繕費	1,405	1,561	+155	設備投資関連費用の増、 技術開発費の増
業務費	1,980	2,019	+38	システム改修費用の増、 委託費の増
租税公課	422	418	△3	
減価償却費	1,934	1,955	+21	車両・地上設備等
営業利益	6,677	6,230	△446	
経常利益	5,901	5,400	△501	
当期純利益	4,140	3,788	△352	

■ 運輸収入におけるインバウンド収入の影響・・・450億円（前年比105%）

Ⅲ. 2021年3月期 業績予想 Ⅳ. 主な施策展開



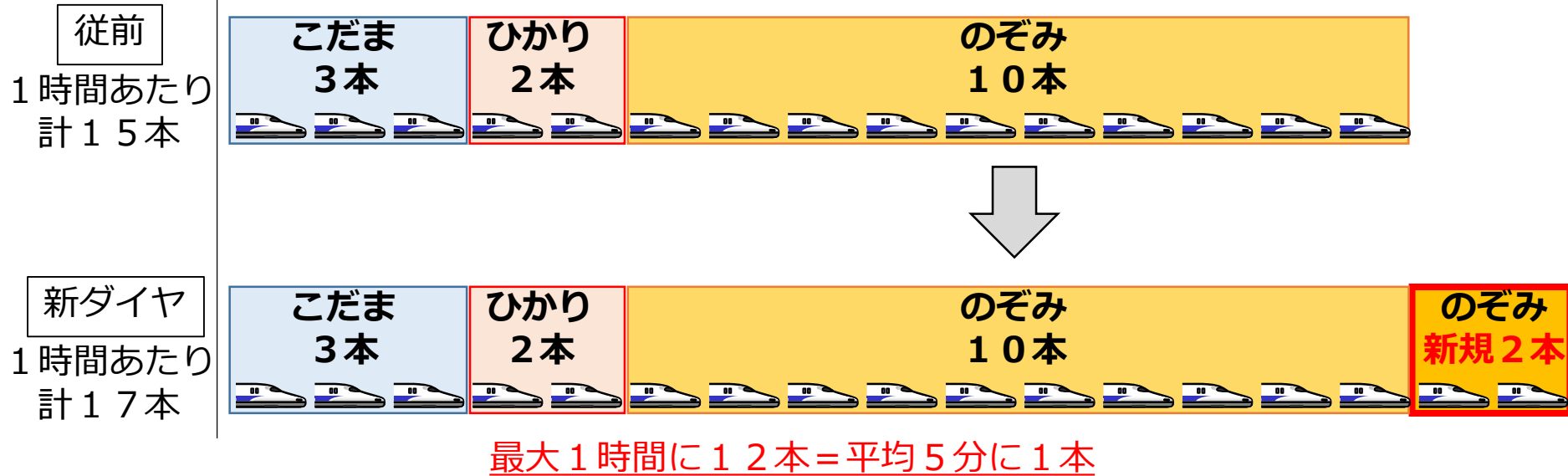
取締役 執行役員
総合企画本部長
丹羽 俊介

東海旅客鉄道株式会社
2020年4月28日

業績予想

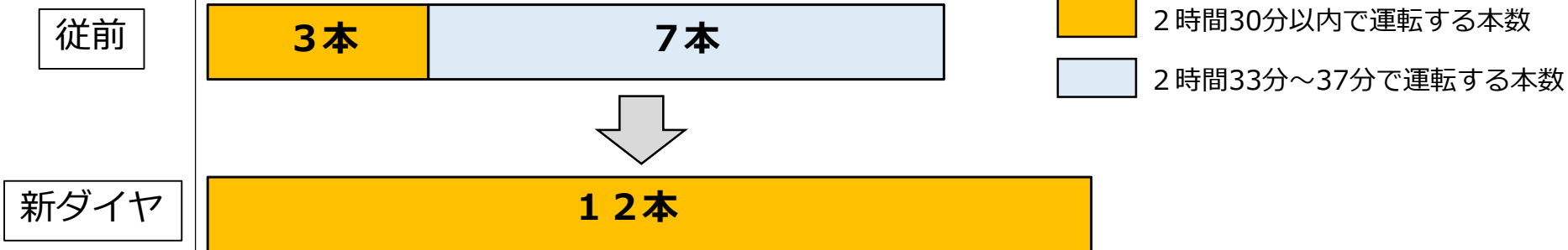
- 2021年3月期の業績予想については、現在、新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響により鉄道等のご利用が大幅に減少しており、今後も業績に影響を与える未確定な要素が多く、現時点で算定が困難であるため、未定とする。
- 今後、可能となった時点で速やかに公表する。

「のぞみ」の運転可能本数の増加



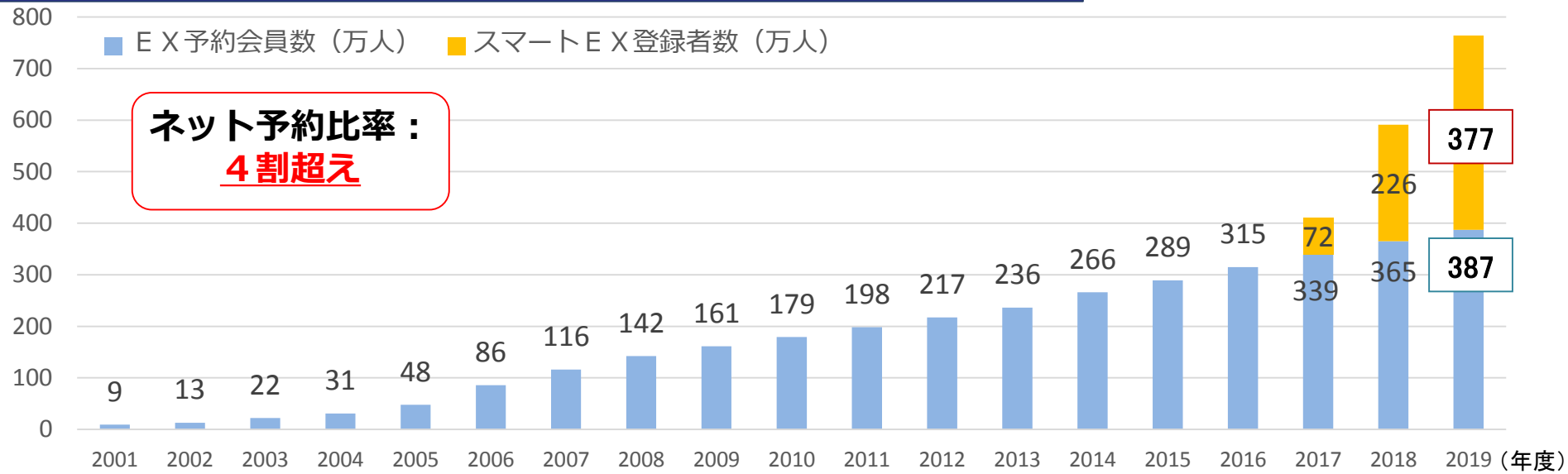
「のぞみ」の所要時間の短縮

東京駅～新大阪駅間の所要時間の内訳



東京駅～新大阪駅間の所要時間を最大7分短縮し、全ての「のぞみ」が2時間30分以内で運転

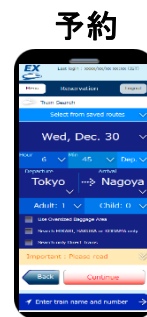
出発地から目的地までのトータルでの移動時間を短縮



2021年春 さらなるサービス拡充

※1 交通系ICカードを登録すれば
きっぷの受取りは不要

- 訪日外国人向けQRコードによる
チケットレス乗車サービス (※右図参照)
- 複数人でのご旅行の際の
チケットレス乗車サービス
- 遅延が発生した列車の指定席予約・
変更サービス



(現行) きっぷを受取り(*)・改札通過



(新サービス)

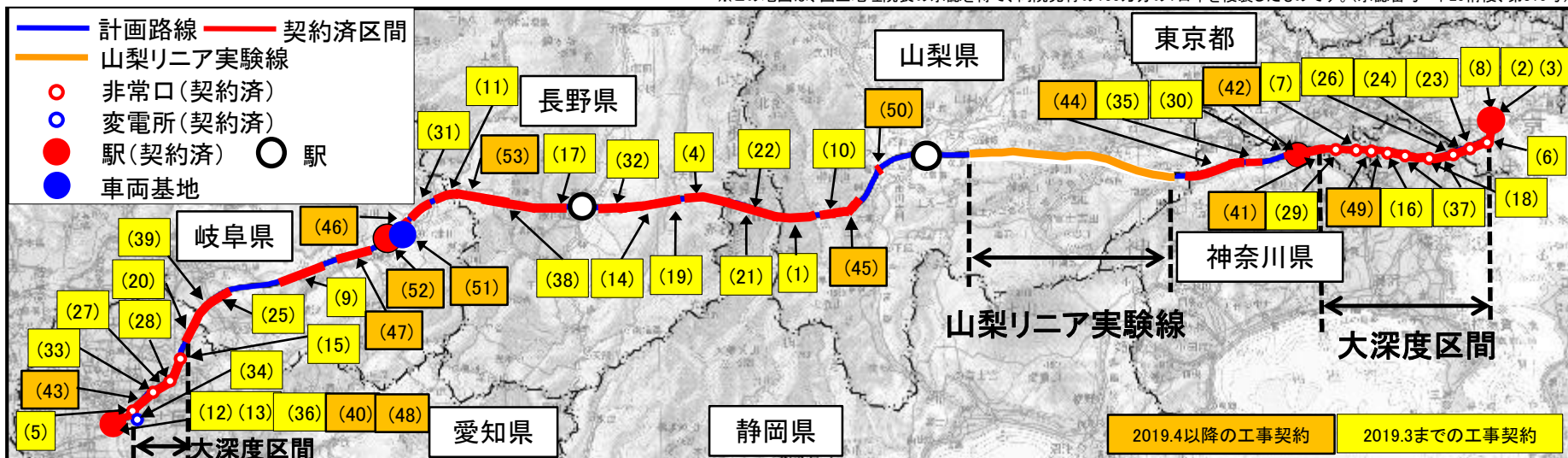
QRコードで改札通過

IC/QRコード読取部
(イメージ)



○本体工事契約箇所

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本を複製したものです。(承認番号 平25情複、第310号)
 ※本体工事契約区間等は概ねの位置を示したものです。



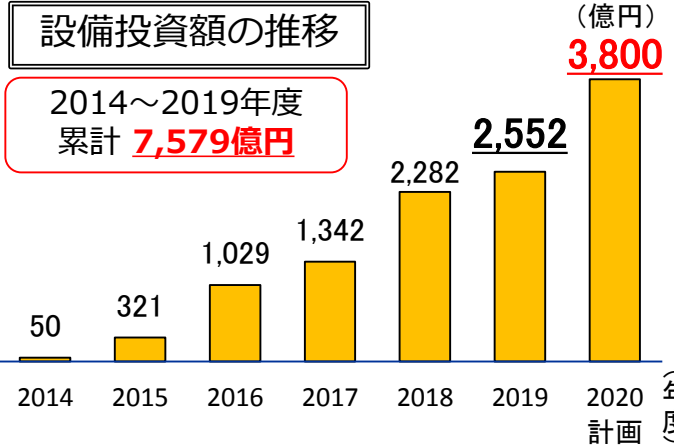
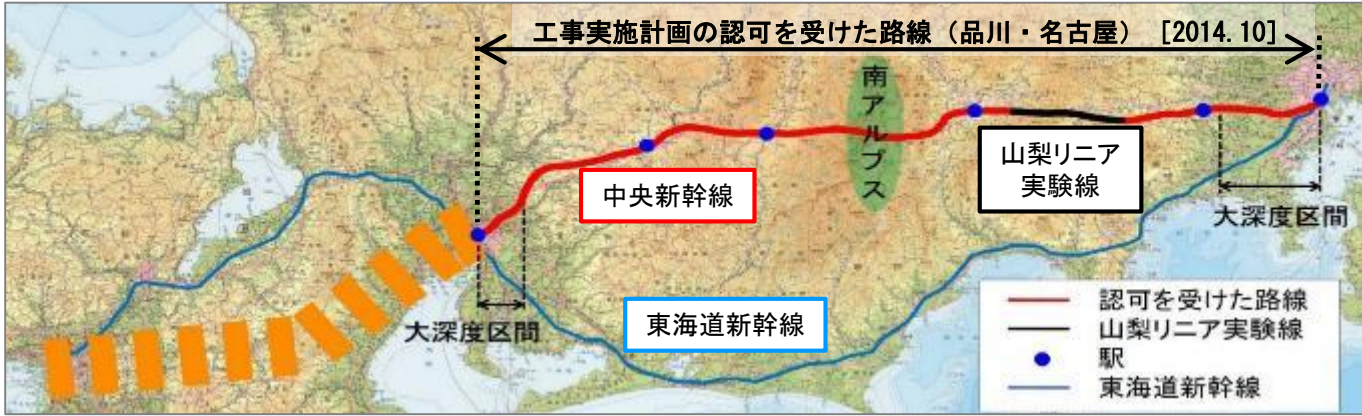
《2019年度の工事契約締結件名》

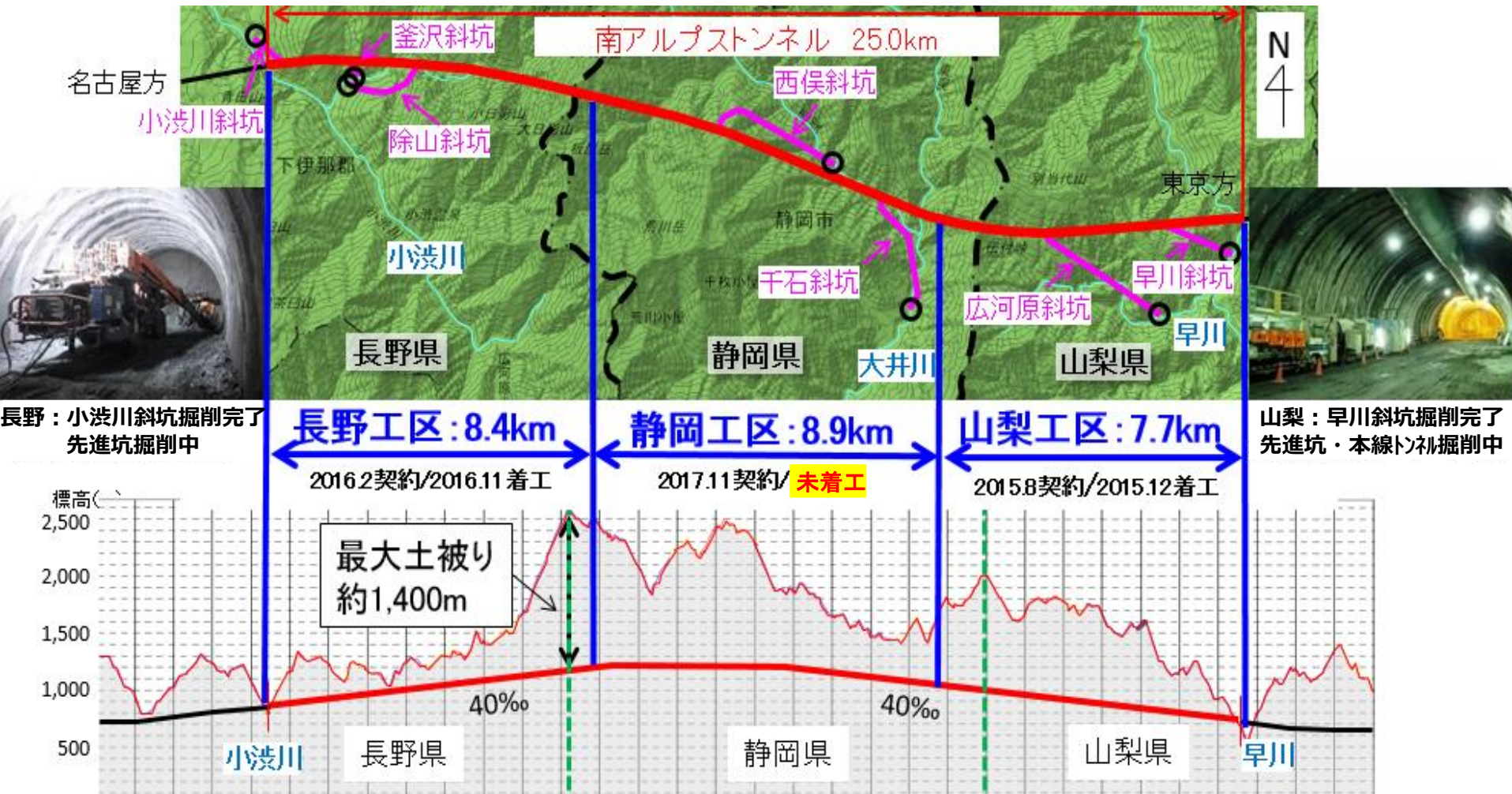
- | | |
|----------------------------------|---|
| (40) 名古屋駅(東山線工区)[愛知](19.4) | (48) 名古屋駅(西工区)[愛知](20.1) |
| (41) 第一首都圏T(小野路工区)[東京・神奈川](19.4) | (49) 第一首都圏T(東百合丘工区)ほか
[東京・神奈川](20.2) |
| (42) 神奈川県駅(仮称)[神奈川](19.6) | |
| (43) 第一中京圏T(名城工区)[愛知](19.7) | (50) 山梨県内高架橋ほか[山梨](20.3) |
| (44) 藤野T[神奈川・山梨](19.10) | (51) 中部総合車両基地ほか[岐阜](20.3) |
| (45) 第四南巨摩T(東工区)ほか[山梨](19.12) | (52) 岐阜県駅(仮称)ほか[岐阜](20.3) |
| (46) 駒場T[岐阜](19.12) | (53) 中央アルプスT(尾越)[長野](20.3)* |
| (47) 長島T[岐阜](19.12) | |

※ * は鉄道・運輸機構による工事契約締結件名

※ Tはトンネルの略

中央新幹線 工事の進捗状況





- 山梨、長野の両工区については、トンネルの掘削工事を実施中。
- 静岡工区については、未だ、坑口付近に通じる林道の整備や建設従事員の宿舍の建設等の工事にとどまっている。

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更等が挙げられます。

(参考) 運輸セグメント

(単位: 億円)	2019.3 実績	2020.3 実績	2020.3 / 2019.3
営業収益	14,613	14,312	△300 97.9%
営業費	7,964	8,136	+171 102.2%
営業利益	6,648	6,176	△472 92.9%

2020年3月期 主な増減要因

- 新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響による当社の運輸収入の減等により、減収減益。

※ 2021年3月期の業績予想については**未定**

(参考) 流通セグメント

(単位: 億円)	2019.3 実績	2020.3 実績	2020.3 / 2019.3
営業収益	2,649	2,632	$\Delta 17$ 99.4%
営業費	2,553	2,558	+5 100.2%
営業利益	96	74	$\Delta 22$ 76.8%

2020年3月期 主な増減要因

- 新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響によるJR東海キヨスクの店舗売上の減等により、減収減益。

※ 2021年3月期の業績予想については**未定**

(参考) 不動産セグメント

(単位: 億円)	2019.3 実績	2020.3 実績	2020.3 / 2019.3
営業収益	821	799	$\Delta 21$ 97.4%
営業費	618	609	$\Delta 8$ 98.6%
営業利益	202	190	$\Delta 12$ 93.7%

2020年3月期 主な増減要因

- JR東海不動産のマンション販売収入の減に加え、新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響による駅ビル収入の減等により、減収減益。

※ 2021年3月期の業績予想については**未定**

(参考) その他セグメント

(単位: 億円)	2019.3 実績	2020.3 実績	2020.3 / 2019.3
営業収益	2,610	2,722	+111 104.3%
営業費	2,449	2,587	+137 105.6%
営業利益	161	135	△25 83.9%

2020年3月期 主な増減要因

- 当社の設備投資の増等に伴う受託会社の売上増や日本車両における鉄道車両事業の売上増等により、増収。
- 新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響によるJR東海ホテルズやJR東海ツアーズの売上減により、減益。

※ 2021年3月期の業績予想については**未定**

(参考) 主な子会社の実績 (連結修正前)

○2020年3月期 実績

(億円)

	営業収益			営業利益			経常利益		
	2019.3 実績	2020.3 実績	前期比	2019.3 実績	2020.3 実績	前期比	2019.3 実績	2020.3 実績	前期比
JR東海高島屋	1,435	1,437	100.1%	49	45	92.7%	51	47	93.1%
JRセントラルビル	325	327	100.6%	55	40	71.7%	53	37	70.9%
JR東海ホテルズ	265	249	94.1%	12	0	3.0%	14	2	15.0%
日本車両	892	927	103.9%	79	83	105.6%	82	85	103.6%
				日本車両	当期純利益		89	123	137.2%

(参考) 輸送量の推移 (月次利用状況)

◆月次利用状況 Monthly passenger volume

(%)

期間 Period	新幹線 Shinkansen						在来線 Conventional Railway		
	東京口 Tokyo Gate					大阪口 Osaka Gate	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	平日 Weekdays	土休日 Weekends			合計 Total
19/04	104	104	104	103	101	109	105	107	102
19/05	104	104	103	103	102	104	104	105	99
19/06	103	103	103	101	103	102	104	102	99
FY 1Q	103	104	103	102	102	105	104	105	100
19/07	103	103	103	102	102	106	103	136	105
19/08	100	100	100	99	101	97	101	109	98
19/09	102	102	104	105	101	105	102	109	106
FY 2Q	102	102	102	102	101	104	102	116	103
FY 1H	103	103	103	102	102	105	103	110	101
19/10	99	98	102	98	105	85	98	101	96
19/11	100	100	101	101	101	98	99	104	100
19/12	101	101	101	101	101	103	100	101	102
FY 3Q	100	100	101	100	102	95	99	102	99
20/01	103	103	102	103	100	109	103	100	103
20/02	92	92	91	93	91	87	91	87	98
20/03	41	40	37	50	44	37	40	42	73
FY 4Q	76	76	74	80	76	75	75	76	91
FY 2H	89	88	88	90	90	85	88	89	95
年度累計 FY Total	96	95	96	96	95	95	95	99	98

(参考) 輸送量の推移 (多客期利用状況)

◆多客期利用状況 Passenger volume during the peak holiday seasons

・ゴールデンウィーク “Golden Week” Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	合計 Total	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area(※)
4/26~5/6	120	118	111	118	124	107

・お盆期間 Summer Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	合計 Total	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area(※)
8/9~8/18	101	101	96	100	101	97

・年末年始 Winter Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	合計 Total	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area(※)
12/27~1/5	104	105	103	104	102	103

(注) 新幹線・在来線特急等は特定の駅間(のぞみ、ひかり:小田原~静岡、こだま:新横浜~小田原)における月累計断面輸送量の対前年比

在来線名古屋近郊は自動改札集計による乗車人員合計の対前年比。※多客期においては定期外の乗車人員に限る。

Note: The data of the Shinkansen and Express is based on the total passenger volume of each month at certain points

(Nozomi & Hikari → Odawara~Shizuoka, Kodama → Shin-Yokohama~Odawara)

The data of the Nagoya area is based on the passenger ridership of each month counted by automatic ticket gates.

※The data of the Nagoya area regarding the peak holiday seasons is based on the passenger ridership excluding commuter passes.

(参考) 月次営業概況 (商業施設・ホテル)

◆ 商業施設 Commercial Facilities

ジェイアール名古屋タカシマヤ、及び タカシマヤ ゲートタワーモール JR Nagoya Takashimaya and Takashimaya Gate Tower Mall		
期間 Period	売上高合計 2021年2月期 (百万円) Total Sales FY2020: 2020.3~2021.2 (Millions of Yen)	前年同月比 (%) YoY Comparison
19/03	15,276	104.3
19/04	13,046	103.3
19/05	12,360	100.3
19/06	13,646	106.2
19/07	13,369	98.1
19/08	11,933	105.9
19/09	15,935	129.5
19/10	11,094	83.3
19/11	13,766	98.3
19/12	18,044	98.0
20/01	15,397	103.3
20/02	11,446	92.2

◆ ホテル Hotels

名古屋マリオットアソシアホテル Nagoya Marriott Associa Hotel		名古屋JRゲートタワーホテル Nagoya JR Gate Tower Hotel		
期間 Period	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.
19/04	85.4	-5.0	96.4	2.0
19/05	79.2	-5.4	89.3	-1.2
19/06	75.7	-8.0	91.5	-1.3
19/07	77.2	-5.3	95.6	-0.2
19/08	75.7	-6.7	97.1	0.7
19/09	79.2	-1.5	93.8	0.2
19/10	88.6	4.9	95.4	1.4
19/11	90.1	3.6	96.8	1.4
19/12	81.7	-1.7	92.2	-1.4
20/01	74.1	1.7	85.8	1.9
20/02	67.9	-16.0	80.3	-11.0
20/03	34.6	-47.6	39.8	-47.4

(注) 各月の数値は速報値のため、確定値とは異なる場合がある。

Note: The number for each month comes from a quick estimation, which might differ from the actual results.